



安八町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して～

近年、世界各地で地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、異常気象が発生し、国内においても猛暑や豪雨による自然災害が頻発しており、人類やすべての生き物にとっての生存基盤を脅かす「気候危機」と言うべき深刻な状況となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有され、この目標を達成するため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要があると示されています。

安八町では、「自然と共生した潤いのあるまちづくり」を目指し、次世代のためにも将来にわたり持続可能な循環型社会、脱炭素社会の実現に向けて、町民、事業者、行政が連携し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和4年9月6日

安八町長 塚 正